

2006年11月1日
建通新聞

2006年11月15日
建通新聞

高齢化時代の
リフォーム



連空間設計
代表取締役
今村敏雄さん

リフォ
ーム法人いきいき住宅
リフォ
ーム支援機構・愛知

理事
からひと言

② 愛知事務局
長

20年ほど前、郊外の住宅団地開発に携わる機会が多かった。当時の大規模団地の多くは、起伏のある宅地を多く遊るこ
とが求められていまし
た。
「南向き」や「角地」
は今でも人気は高いもの
が、「北宅地」は道路と
玄関が接近している場合
が多く、スロープ化は困
難な場合が多いのではな
いでしょうか。わが家の
宅地も「北宅地」で段差
が1.5ほど。スロー
プが必要になったら家を
分譲。当 住宅の購入者は、30代
半周させて設置する予定
です。
すく、人気。居住者の高齢化が進
む中、アプローチのバリ
アフリーを考えると、「南
宅地」は玄関まである程
度の距離があるのでスロ
ープ化も考えられます
が、「北宅地」は道路と
玄関が接近している場合
が多く、スロープ化は困
難な場合が多いのではな
いでしょうか。わが家の
宅地も「北宅地」で段差
が1.5ほど。スロー
プが必要になったら家を
分譲。当 住宅の購入者は、30代
半周させて設置する予定
です。

高齢化時代の
リフォーム



メディ・ケア
社長
佐橋道広さん

リフォ
ーム法人いきいき住宅
リフォ
ーム支援機構・愛知

理事
からひと言

③

在宅の住環境整備にお 寿社会対応住宅設計指
いては、19 95年に「長
ノーマライゼーションの視点で住環境整備を
て、私たち福祉に携わる 障
者・建築の専門家の方と 障
の視点の違いを感じる場 障
合があります。そし
て最終目標は、誰もが住
先曰、「某ハウスメー みる
カーに手摺りを取り付け ザ
てもあったが太くて握れ あり、社会環境面におい
ては、誰もが
自分らしく生
きる事ができるノーマ
ライゼーション社会を
実現させることだと思
います。
た。玄関の上がり框(かま 現
しかし)を昇降するための ず。
リフォーム 手摺りの直径が45mm
ムについてりました。

2006年12月13日
建通新聞

2006年11月29日
建通新聞

リフォ
ーム法人いきいき住宅
リフォ
ーム支援機構・愛知

理事
からひと言

⑤ 点検高法設
計図・契約・



協同設計舎建築
事務所主宰者
滝井幹夫さん

高齢化時代の
リフォーム

現在住宅ストックの 要が増大して
増大と急速な高齢化社会 一方
の時代。また、耐震診断 従来
・補強も社会的な要請と え、他
なり、各種リフォーム高 人が
増え、新規参入者だ けでは
ありませんが、 知識や技術
もなく、工 事を丸投げ
し、利益を

施工と無関係な
専門家が関与を

介護関係者との連携不可欠

9年前から欠陥住宅
を
多く手掛けている

⑤ 点検高法設
計図・契約・
見積書の不備③工事内容
のあいまいさ①などが共
通項として挙げられま
す。リフォームと言えど
も最初から施工と無関係
な専門家建築士との関与
が望ましく、高齢者リフ
ォームはその身体機能の
把握が必須である特性か
ら、介護・福祉・医療関
係者との連携が不可欠。
①にこそ、このNP
Oの存在意義があると思
います。
（NPO法人欠陥住宅を
つくらない住宅設計者の
会理事）

リフォ
ーム法人いきいき住宅
リフォ
ーム支援機構・愛知

理事
からひと言



NPO法人てすり
なごや理事長
各務 武さん

高齢化時代の
リフォーム

「家庭内での
事故防ごう」

バリアフリー、
段差の解消を

高齢者の家庭内事故は 万人のうち、家庭内事故 数年増加傾向にあり、死
交通事故死より多い。 でこ
不慮の事故死者数約4 生労働省の統計からみて
を繰り返している方がそ
ろろと見られます。転倒・転落、浴室内な
どの事故により自分や周
りに迷惑をかけ、健康で
あることがいかに大切か
を思い知らされます。
家庭内事故は、バリア
フリーや段差の解消、
手摺りの取り付けなどで
防げます。
事故を減らすことは、
ひいては介護保険財政を
救うことにもつながるは
家のことは熟知している
ず。設計の段階から考え
と悪い込み、大丈夫とし
てみましょう。

④ て、家庭内の
安全に対する
配慮がよろそ
いでしょうか。
転倒・転落、浴室内な
どの事故により自分や周
りに迷惑をかけ、健康で
あることがいかに大切か
を思い知らされます。
家庭内事故は、バリア
フリーや段差の解消、
手摺りの取り付けなどで
防げます。
事故を減らすことは、
ひいては介護保険財政を
救うことにもつながるは
家のことは熟知している
ず。設計の段階から考え
と悪い込み、大丈夫とし
てみましょう。